2021.9.22

第34回（2021年度）学生奨学論文 募集要項

1. 応募資格

個人でもグループでも応募可能です。

大阪経済大学に在籍する学部生。一人または1グループにつき1論文とします。
※ただし、大阪経大学会ホームページや印刷物による公開の許諾を条件とします。科目等履修生は該当しません。

2. 論題

自由論題です。各自で自由に論題を設定してください。
※論文については、先行研究を十分に踏まえて作成してください。

3. 原稿の体裁

分量はおおむね、刷り上りがA4版横書きで、図表・統計資料を含めて10ページ程度とします。
ただし、表紙、要約、目次は原稿枚数に入りません。なお、作成にあたっては、原稿用紙（Word形式）を学会ホームページに掲載しますので、その様式を使用してください（6月に掲載予定）。

【注意】 以下の体裁を守らない場合は審査の対象外となります。
（1）1ページ 40字×40行
（2）表紙→要約→目次→本文 の順序で作成
（3）表紙、800字程度の要約、目次を作成
（4）本文にはページ数を表示する
（5）論文執筆に利用・引用した文献および資料はすべて、脚注や参考文献として表示すること
※記載がない場合、盗用とみなされることがあります。
（6）論文内（データ等含む）に謝辞や指導教員等がわかる情報は一切入れないこと
（7）グループ研究の成果で個人が応募する場合、関係者の承諾を得ること（承諾書の提出義務）
（8）応募は未発表の論文であること
（9）過去の論文を発展させ、過去の論文の結論をより確かなものとできるのであれば、未発表の論文として応募できる（本文初めに「本論文は、20xx年度学生奨学論文に応募した原稿を基に作成したものである」などの記載を入れる）
（10）共同論文の場合は、全体の構成をよく考え、各章で同じ内容になっていないかなど、確認すること
（11）誤字脱字がないか必ずチェックをすること

4. 提出について

※不備がある場合は、審査の対象外とします。

提出期間：2021年9月27日（月）～ 10月1日（金）
受付時間 10:00 ～ 12:30、13:30 ～ 16:00 ※厳守（上記期間を過ぎての提出は認めません）

提 出 先：大阪経大学会事務局（J館3階 研究支援・社会連携課内）
次の（1）（2）両方の提出が必要です。
（1）については、郵送またはPDFファイルによるメールでの提出も可とします。
（1）下記の提出物 ①～③をプリントアウト（印刷）し、大阪経大学会事務局へ提出してください。
（2）「①学生奨学論文申込票」、「②論文原稿」のデータをメールに添付して、大阪経大学会へ送信してください。 大阪経大学会メールアドレス：gakkai@osaka-ue.ac.jp

提 出 物：大阪経大学会ホームページに掲載の提出原稿様式（Word形式で、拡張子は.docx）を使用すること。
①学生奨学論文申込票（1枚）・・・6月に学会ホームページに掲載予定。
ダウンロードした書式に入力し、プリントアウト（印刷）して、論文使用許諾に自署したものを提出
②論文原稿（1部） プリントアウト（印刷）した原稿
③関係者の承諾書 ※原稿の体裁（7）に該当する論文のみ

5. 審査

本学専任教員で構成する審査員会が行います。

6. 結果発表

2021年12月に受賞発表・表彰式を開催します。

7. 表彰と副賞

■参加賞　図書カード5千円分

※個人応募の場合は応募者本人に、グループ応募の場合はグループに図書カード5千円分を差し上げます。
※ただし、審査員会において審査対象外と判断された論文については、参加賞は出ません。
※図書カードは後援会の協賛により贈呈します。

■12月に受賞発表・表彰式を開催し、入賞者へは賞状および副賞を授与します。
各賞と副賞は以下のとおり。

［特　選］　副賞　奨学金20万円　　および 図書カード5万円分
［入　選］　副賞　奨学金10万円　　および 図書カード3万円分
［佳　作］　副賞　奨学金5万円　　および 図書カード1万円分
［努力賞］　副賞　奨学金2万円　　および 図書カード5千円分

※奨学金は経大学会、図書カードは大樟会（同総会）の協賛により授与します。

8. 入賞論文の公表

入賞論文については、「大阪経大学会通信」に概要を掲載するとともに、全文を複写・製本して、図書館で閲覧できるようにします。また、入賞論文については、学会ホームページにも公開します。

入賞論文の著作権については、大阪経大学会に帰属します。

9. 昨年の入賞状況　※学会ホームページおよび図書館にて閲覧可能です。

［特　選］　該当なし
［入　選］　該当なし
［佳　作］　5本
［努力賞］　1本

10. お問い合わせ、ダウンロード先

大阪経大学会　事務局（J館3階　研究支援・社会連携課）
TEL 06-6328-2431（代）、FAX 06-6370-7847
E-mail： gakkai@osaka-ue.ac.jp
大阪経大学会ホームページ: https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/

論文を書くには

1. レポートとの違いを理解しよう

□自分なりのテーマを設定する

手引きシリーズ 「論文・レポートの書き方」 第2章 p.28「3. 卒業論文のポイント」参照

https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/

□引用文献を必ず書くこと

手引きシリーズ 「論文・レポートの書き方」 第5章 p.69「文献・資料の引用」参照

https://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/

2. 応募することに意義がある

□学生時代のよい経験になるし、就職活動のPRにもなる。

3. 審査のポイントを押さえよう

□ 形式　形式はとっても大切

・原稿の体裁は、様式どおりか 【注意】(1)～(11)を必ずチェックしてください

・文献引用は適切か

・“注”の付け方は正しいか

□ 内容　調査やフィールドワークはポイントが高い

・表現力・分析力・構成力はあるか

・主張が明確か、オリジナリティはあるか

・説得力があるか(結論まで整合性がとれているか)

共同論文の場合は、テーマの方向性を合わせ、論文構成に十分注意すること

4. スケジュールを立てよう

6月　・テーマ設定

7月～9月　・資料収集　・下書き　・推敲

9月27日～10月1日　・提出

5. 論文執筆のプロセス

手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」 第2章 p.30参照
http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/

＊［1］テーマの設定
▼
［2］テーマに関する書物を一冊熟読する
▼
＊［3］章別構成を決め、各章の大枠を決める
▼
［4］関連文献を３～４冊読む
▼
＊［5］必要な資料・統計を収集する
▼
＊［6］各章の内容を肉付けし、第一次草稿を書く
▼
［7］最低３～４回書き直し，清書をする
▼
［8］参考文献，注を書き込む

（＊は特に重要なプロセス）

6. 論文執筆の手がかりとなる文献・資料

・手引きシリーズ「論文・レポートの書き方」
http://www.osaka-ue.ac.jp/keidaigakkai/guide/

・本学図書館では、豊富な書籍・雑誌を取り揃えています。専門分野の書籍はもちろんのこと、論文の書き方について書かれた書籍も多数あります。文献や資料を収集の際に、是非利用してください。

7. 最後に

学生奨学論文は、書けば必ず自分の力になります。途中であきらめたくなることがあるかもしれませんが、頑張って最後まで仕上げましょう。
わからないことがあれば、気軽に質問してください。皆さんの応募をお待ちしています。

協賛：大阪経済大学大樟会（同窓会）　協力：大阪経済大学図書館
大阪経済大学後援会

大阪経大学会事務局　gakkai@osaka-ue.ac.jp